

芸術科「書道Ⅰ」シラバス

書道Ⅰ	単位数	2単位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年 1～9組

1 学習の目標

学習の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	光村図書「書道Ⅰ」

2 評価の観点、評価規準

A 表現

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 ・「評価カード」の記入状況 ・作品 ・提出作品 ・定期考査
書表現の構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・「評価カード」の記入状況
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけて表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・作品 ・「評価カード」の記入状況

B 鑑賞

書への関心・意欲・態度	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について関心をもち、書のよさや美しさを感じ取り、主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 ・「評価カード」の記入状況 ・作品 ・提出作品 ・定期考査
鑑賞の能力	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・「評価カード」の記入状況

3 学習計画

(1) 年間指導計画案

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	配当 時数	学習活動
四月	書写から書道へ	1 書写と書道の違い	1	・書写と書道の違いを学習する。
		2 用具・用材 ・文房四宝	2	・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。
		3 姿勢・執筆法 ・いろいろな姿勢 ・執筆法		・書く姿勢、腕の構え方、筆の持ち方について、いろいろな方法があることを理解する。 ・様々な線を引き、運筆方法の違いを知る。
	漢字の書	1 漢字の書を学ぶ ・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習 【臨書】	1	・漢字の成立と変遷について理解する。 ・臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。
		2 行書 ・行書の成立と特徴 ・蘭亭序について	2	・行書の成立と行書の特徴を理解する。 ・蘭亭序の書かれた時代背景を学習する。
		・行書の特徴(曲線)	2	・曲線的な用筆を意識して蘭亭序を臨書する。 ・曲線的な運筆方法を習得する。
		・行書の特徴(線の連続)	2	・線が連続した用筆を意識して蘭亭序を臨書する。 ・線が連続した運筆方法を習得する。

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	配当 時数	学習活動
五月	漢字の書	・線の特徴（太細）	2	・線の太細の変化に注意して蘭亭序を臨書する。 ・文字の中の太細の変化を理解し、表現することができる。
		・線の特徴（線の位置）	2	・線の位置によって文字周りの空間の変化を知る。 ・線の位置の変化に注意して蘭亭序を臨書する。
		・線の特徴（接筆）	2	・接筆によって変わる文字空間の変化を知る。 ・接筆に注意しながら蘭亭序を臨書する。
六月		半切作品制作	4	・行書の用筆，運筆，線の特徴について理解し，作品制作をする。
七月		鑑賞	4	・書き上げた半切作品を鑑賞し、学習活動を振り返る。 ・自身と他者の作品を比較し、討論することができる。
		楷書 ・楷書の成立と特徴	1	・楷書が成立する過程や楷書の特徴について理解する。
九月		臨書・鑑賞 ・九成宮禮泉銘	2	・「九成宮禮泉銘」の臨書を通して楷書の用筆，運筆，字形の取り方を理解する。
		・孔子廟堂碑	2	・「孔子廟堂碑」の特徴と「九成宮禮泉銘」との違いを理解し臨書する。
		・雁塔聖教序	2	・「雁塔聖教序」の特徴を理解して臨書する。
十月		・顔氏家廟碑	2	「雁塔聖教序」の特徴を理解して臨書する
		・半切作品制作	4	
十一月		漢字の創作	3	・創作の手順に従い，漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして，創作する。 ・創作作品を鑑賞し，感想を述べ合う。
	・鑑賞会をしよう	2	・鑑賞カードをもとに，互いの作品を見せ合い，認め合う。	
十二月	篆刻	篆刻 ・印の役割 ・篆刻とは	2	・印の役割と効果について理解する。 ・朱文・白文の効果について理解する。
		・字調べ ・印のデザイン	2	・篆書について知る。 ・名前の篆書体を知り、篆書の法則に従って印をデザインする。
・印稿 ・布字		2	・印稿制作の役割を知る。 ・布字を行う。	
・彫る		2	・印刀の使い方、刻しかたを理解する。	
・押印 ・鑑賞		2	・押印し、朱と白のバランスを理解する。	
一月		仮名の書	1 仮名の成立 ・仮名の種類 ・現在の仮名の種類 ・仮名の美	2
	2 仮名の用具・用材 ・用具・用材の種類			・仮名の用具・用材と，それぞれの特徴について理解する。
	3 仮名の筆使い ・いろいろな線		1	・仮名の基本的な線，運筆について理解し，練習する。
	4 平仮名の単体 ・古典から集字した平仮名		2	・平仮名の単体の特徴について理解し，練習する。

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	配当 時数	学習活動
一月	仮名の書	連綿 ・連綿の分類	2	・仮名を書く際の特徴である連綿について理解し、練習する。
二月		変体仮名 ・平仮名と変体仮名	2	・変体仮名について理解し、練習する。
		臨書・鑑賞 ・蓬萊切 ・高野切第三種	4	・仮名の用筆、運筆を用いて臨書する。
三月	漢字仮名まじりの書	鑑賞 ・名筆の作品を鑑賞	1	・漢字仮名交じりの書の成り立ちについて知る ・作品鑑賞し、感じたことを発言する。 ・作品の持つ特徴を探し、全体共有を行う。
		作品制作	3	・書きたい文章を探す ・作品イメージを作る ・イメージを表現し、制作意図を書く。
		鑑賞	1	・作者の意図を想像しながら作品を鑑賞する。
			70 時間	

評価 方法	<p>評価は具体的に次のものを対象にする。</p> <p>① 提出作品・・・漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書において本時の学習目標に応じた表現ができたかが評価の基準になる。</p> <p>② 作品の構想や感想・評価などを記した「評価カード」・・・自分の制作過程や授業内容の理解、自己評価などの充実。</p> <p>③ 学習活動への参加状況・・・用具用材の扱い（準備や片付け）、学習態度、意見発表等。</p> <p>④ 定期考査</p> <p>1年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。</p>
----------	--

4 補足

確かな学力を身につけるための アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の学習においてはまずよく見ることが大切です。本時の授業内容が作品のどこを示しているのか、自らの考え、感性にもとづき表現しましょう。 ・技法の習得は主として古典の臨書によりますが、ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚、1字1字について自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習することが大切です。そのために「評価カード」はよく考え、丁寧に書きましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めますので、用具を準備し着席を完了させて下さい。 ・用具は大切に扱い、特に、筆と硯はきれいに洗いましょう。